

3

市民アンケート結果 (該当箇所/参考)

質問	内容	
Q7.明治大学黒川実習農場内の「自然生態園」としての遊歩道に行ったことがありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「知っている」が計48%、「知らなかった」が49%を占め、概ね半々である。</li> <li>「知っている」またはツアーに参加した方からは、その環境、ツアー内容共に好評である。(自由意見より)</li> </ul>	
Q8.「自然生態園」では、市民ボランティアの参加も検討していますが、募集していれば参加したいと思いませんか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「参加したい」割合が21%、「内容によっては参加したい」が55%を占め、関心層が多い。</li> </ul>	
Q13.黒川地域の谷戸の環境について、どう思いますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自然がいっぱいあって良い」が突出して多く、約9割を占め、次いで「懐かしさを感じさせる風景である」が46%、「昆虫や鳥などの動物がみられるのがよい」30%と黒川の自然環境に高い評価。</li> <li>「農体験や里山体験ができてよい」が21%となっており、農や里山体験に関する評価もされている。</li> </ul>	

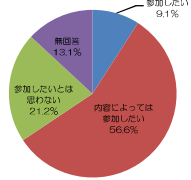
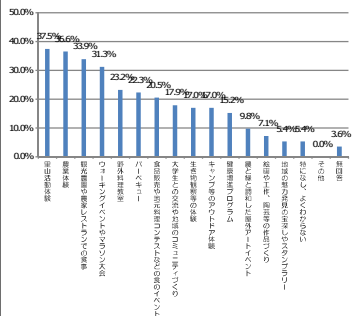
3

市民アンケート結果 (該当箇所/参考)

質問	内容	
Q14.黒川地域にいくつかの散策コースがあることを知っていましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歩いたことがある」方が47%となっており、約半数の方が体験されている。</li> <li>認知度としては、「歩いたことがある」、「知っているが歩いたことがない」で67%を占め約7割となっている。</li> </ul>	
Q15.黒川地域内を散策するためにしてほしいことはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「トイレがほしい」が最も多く53%となっており、半数以上を占める。</li> <li>その他は「わかりやすく使いやすいマップを作成してほしい」33%、「休憩所がほしい」30%、「案内表示板等がほしい」25%、「駐車場がほしい」24%、「カフェなど店舗がほしい」21%等、多岐にわたり要望事項が多いことが伺える。</li> </ul>	
Q18.麻生区内では、里山保全活動が行われていますが、知っていましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「参加している」6%、「以前参加していた」4%を合わせても、約1割となっており、里山保全活動への関わりはそれほど多くない。</li> <li>「知らない」が59%、「知っている」39%となっており、認知度としては高くない。</li> </ul>	

### 3

## 市民アンケート結果 (該当箇所/参考)

質問	内容
Q18 SQ1. Q18で「3.知っているが参加したことはない」「4.知らない」と答えた方、参加したいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「参加したい」は9%に留まるが、「内容によっては参加したい」は57%となっており、合わせると約66%を占め、参加意向が比較的高いといえる。</li> </ul> 
Q19.黒川地域において、農と緑の環境を活かした様々な取組みに対し期待したいこと、やってみたいことはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>「里山活動体験」が37.5%、次いで「農業体験」36.6%と体験型の取組みに最も期待が高かった。</li> <li>また、「観光農園や農家レストランでの食事」33.9%、野外料理教室23.2%、バーベキュー22.3%、食品販売等20.5%と食に関する取組みへの期待も高かった。</li> <li>その他「ウォーキングイベントやマラソン大会」が31.3%と高かった。</li> </ul> 

### 4

## 農業者アンケート結果まとめ (当専門部会関連事項の抽出)

### ■農業者アンケートについて

今回の専門部会開催に先駆けて、農業者に対し、アンケートを実施した。

実施時期：平成26年1月～2月

回答者数：44名（有効回答数44）

主な設問：体験型農園等の実施状況や興味、散策路整備について、今後の期待等

### ■アンケート結果の概要(当部会関連事項の抽出)

項目	アンケート	内容
来訪者について	来訪者への印象(Q14)	<b>来訪者増を賛成する方と反対する方が半々。</b> <b>認知度アップと地域の活性化へのニーズは高く、</b> 来訪者増を期待している。一方、反対者の懸念であるマナー違反や安全面への不安を払拭することが課題。
散策路について	今後の整備について(Q15) サイン表示等の設置(Q16)	<b>現状維持が多数ではあるが、整備を希望する声もある。</b> 現状を活かしながら、ある程度の整備として、サイン整備への取組み等による、利便性の向上が期待されている。
今後の取組みへの期待	期待する取組み(Q17) 大学との連携(Q23)	<b>大学等とのコミュニティ強化や里山・農体験イベントの開催に期待が高い。</b> 周辺コミュニティと連携したイベント実施が有効と思われる。 <b>興味関心者が多く、</b> 大学との連携について有効と思われる。

5

農業者アンケート結果 (該当箇所/参考)

質問	内容
Q14.黒川地区内に訪れる人について	<ul style="list-style-type: none"> <li>「訪れる人が増えた方がよい」が43%と最も多く、対して「訪れる人は増えないでほしい」25%となっている。来訪者増を望む方が約倍ほどいる。</li> <li>「自家用車・自転車等で地域内に入ってほしくなく」という否定的な意見が41%、</li> </ul>
Q16.地域内の案内表示等のサイン表示を設置することについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>「散策路の名称と行き先を表示してほしい」が50%を占め、次いで「地名とその説明を表示してほしい」30%、「設置する必要ない」25%。サイン表示を望む方は多い。</li> </ul>
Q17.黒川地域において、期待したいこと、やってみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大学生との交流や地域のコミュニティづくり」27.3%で最も高かった。「里山活動体験」25.0%、「農業体験」20.5%と期待度が比較的高かった。</li> </ul>

5

農業者アンケート結果 (該当箇所/参考)

質問	内容
Q23.明治大学実験農場やその他の学校との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>「興味がある」「内容によっては検討していきたい」が45%となっており、前向きな方が多い。</li> </ul>



## 6 部会の活動に向けたニーズや課題の整理

	ニーズや課題	内容
①	里地里山保全管理体験への高いニーズ	収穫祭での催しや今後期待する取組みにおいて、里山や農の体験イベントに高い人気があり、里地里山保全管理体験に対するニーズは高い。
②	自然環境の活用に対する高い有効性	自然生態園への興味関心や自然豊かな谷戸の環境の高い評価から、地域資源である自然環境を活用した有効性が伺える。
③	散策路における利便性の向上	現状を活かしながら、来訪者の利用促進を意識した利便性の向上が望まれる。
④	マナーアップに配慮した来訪者増への取組み	来訪者増へに向けた取組みとともに、マナーや安全面に関する農業者の懸念を払拭する対策の検討も必要。
⑤	大学や地域との連携へ高い期待	今後の取組みの中で、大学との連携や地域とのコミュニティに対して期待が高い。



## 7 取組みの方向性（案）

### ■黒川地区の特性や 里地里山資源

良好な里地里山景観、豊富な環境資源、特別緑地保全地区での市民による保全管理活動

### ■市民や農業者の ニーズや課題

- |                       |
|-----------------------|
| ①里地里山保全管理体験への高いニーズ    |
| ②自然環境の活用に対する高い有効性     |
| ③散策路における利便性の向上        |
| ④マナーアップに配慮した来訪者増への取組み |
| ⑤大学や地域との連携への高い期待      |

### 取組みの方向性（案）

取組みの方向性1

里地里山保全管理体験の推進

取組みの方向性2

里地里山の認知促進

取組みの方向性3

里地里山を活用した  
大学連携・地域コミュニティづくり

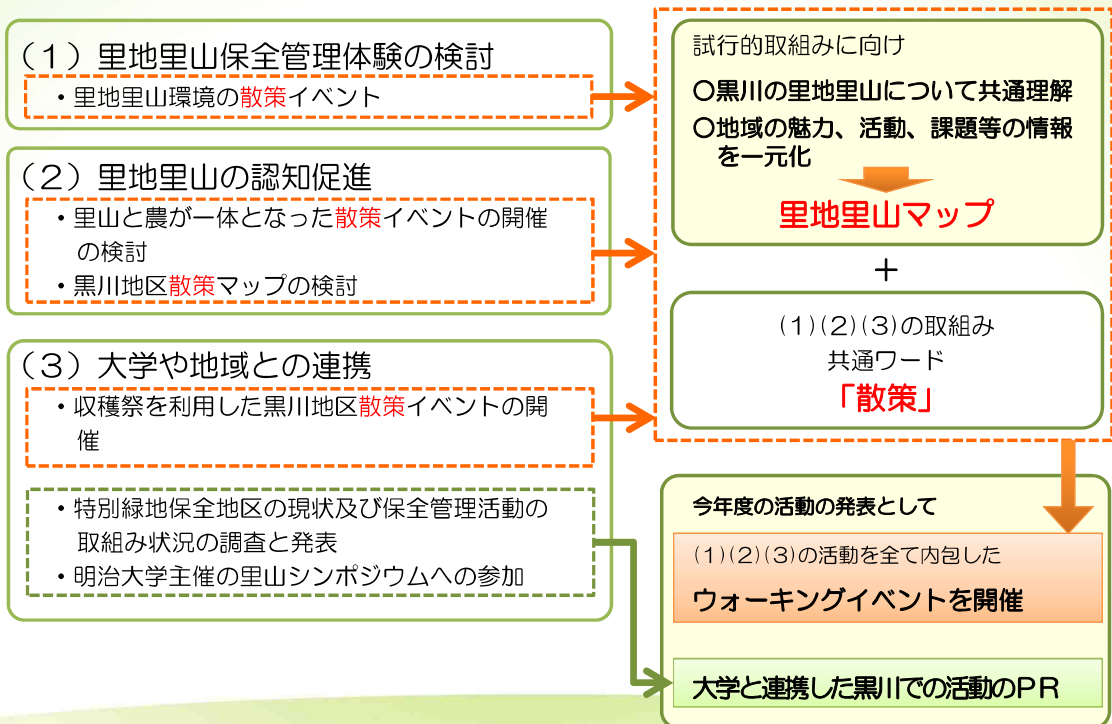


## 8 取組みの方向性の具体化

仮設定した「里地里山保全活用専門部会」の方向性から考えられる取組みについて、今年度試行的に取組みを実施する事で、その取組みの効果や有効性等の確認を行う。

取組みの方向性	試行的取組み（案）	具体例
(1) 里地里山保全管理体験の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山体験メニューの検討</li> <li>里地里山体験の試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→里地里山保全管理体験（下草刈り・間伐）</li> <li>→里地里山環境の調査</li> <li>→里地里山環境の<b>散策</b></li> </ul>
(2) 里地里山の認知促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>散策における来訪者の利便性向上</li> <li>自然環境の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→里地里山の魅力が発信できる<b>散策</b>イベントの開催の検討</li> <li>→黒川地区<b>散策</b>マップの検討</li> <li>→<b>散策</b>を通じた里地里山の環境を守るマナーの向上の取組み</li> </ul>
(3) 里地里山を活用した大学連携・地域コミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治大学黒川農場収穫祭での実施事項の検討（取組み発表、イベント内容）</li> <li>里山保全を通じたコミュニティづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→収穫祭を利用した黒川地区<b>散策</b>イベントの開催</li> <li>→特別緑地保全地区の現状及び保全管理活動の取組み状況の調査と発表</li> <li>→明治大学主催の里山シンポジウムへの参加</li> <li>→黒川地区でのマナーアップ検討</li> </ul>

## 9 今年度の試行的取組み案



## 10 試行的取組みの展開

### ■黒川里地里山マップの作成

#### 【目的】

里地里山利活用専門部会での取組みを推進していくため、まずは里地・里山の魅力、活動、営み、課題等の情報を部会等で共有する為、情報を可視化、一元化出来る「黒川里地里山マップ」を作成する。

#### 【第1回 ワーキング会議での実施事項】

部会メンバーにより、ワークショップ形式によるマップの作成

① ベースマップに「眺めの良い場所」「立派な樹木や森」「緑と調和した歴史や文化を感じる施設」「季節ごとの景勝地」「保全管理活動の開催地」「地域の課題」等をマップに記載する。

② 秋のウォーキングイベントに向け散策に適したルートや見どころをマップ上で確認する。

## 10 試行的取組みの展開

### ■ウォーキングイベントの開催

#### 【目的】

黒川地区の里地・里山の魅力、活動、営み、課題等について里地里山利活用専門部会内で共有化したものを、市民に向けて体感を通して認知促進及び提案を行う。

- (1) 里地里山管理体験の検討
- (2) 里地里山の認知促進
- (3) 大学や地域との連携



散策をキーワードに  
一体的な試行の実施

作成した「黒川里地里山マップをベース」をベースに

「里山体験」「里地里山の魅力のPR」「大学連携」

を取り込んだイベントの開催

#### 【第1回 ワーキング会議での実施事項】

- ① 里地里山マップから、ウォーキングルートを設定
- ② 散策しながらポイントで里山体験が出来るミニイベントを検討
- ③ 大学の収穫祭と連携したルート（スタート・ゴール）の設定  
大学生と連携したイベントの企画

## 10 試行的取組みの展開

### ■ 大学と連携した里地里山の保全活動等の事例発表

#### 【目的】

- 黒川地区の里地里山の環境の魅力と大切さを広く市民に伝える。
- 保全管理活用の重要性を知ってもらい、その活動者に対して評価を行う事で、活動者のやりがいにつなげる。
- 保全管理活用の重要性や、やりがい等を知ってもらい、保全管理活動に参加する人や、利活用の増加につなげる。
- 収穫祭等を活用し、大学と連携して市民や地域の人に活動を広める。

#### 【第1回 ワーキング会議での実施事項】

##### ○発表内容の検討

- 黒川地区の特別緑地保全地区の現状及び保全管理活動の取組み状況
- 黒川地区の自然環境について 等

##### ○発表形態の検討

- 発表方法（映像、パネル、パンフレット等）
- 発表場所（収穫祭、セシサモス、直売イベント等）
- ターゲット（学生、市民、主婦等）

条件等に合わせた  
発表形態の検討

## 11 今年度のスケジュール案

時期	会議	黒川里地里山 マップの作成	ウォーキング イベントの開催	事例発表
6月	<b>第1回 専門部会 (2日)</b> <b>第1回 協議会 (30日)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報の共有化</li> <li>・マップ案の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングイベントの方向性の確認</li> <li>・ウォーキングイベント実施計画案の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表内容や発表方法の確認</li> </ul>
8月				<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表内容の検討</li> </ul>
9月	<b>第2回 専門部会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マップ案の確認</li> <li>・ウォーキングイベントの際のアイデア出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫祭等と連携したウォーキングイベントの実施計画案の提示と実施に向けた調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表内容の確認</li> </ul>
10月	<b>第2回 協議会</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングイベントの最終確認</li> </ul>	
11月		【収穫祭】ウォーキングイベント 成果発表・協議会のPR マップ配布		
12月		活動報告 活動計画の取りまとめ		
3月		マップの配布		



## 里地里山マップ作成ワークショップ

### 【目的】

黒川の豊かな里地里山の環境を守っていく為に、多くの方に黒川を訪れて頂き、自然の魅力や、地域での楽しみ、農業や、里山の保全活動、地域の課題なども知って頂く。

### 【作業の進め方】

当部会の活動を始めにあたっては、まず黒川の里地里山に関する情報を集約化し、部会内で共有化する事が必要になります。そこで、第1回の部会では様々な立場から意見やアイデアを頂き、図面上に一元化していくワークショップ(作業)を行います。

### 【グループ分けの考え方】

より専門的な情報を引き出し、活発に議論して頂く為、今回は「里地(農)」班と「里山(緑地)」班でグループ分け、検討を行います。

「里地(農)」 : セレサ川崎農業協同組合、農業振興センター、建設緑政局緑政部みどりの協働推進課(事務局)

「里山(緑地)」 : 里地里山保全団体、神奈川県横浜川崎地区農政事務所、川崎市麻生区役所企画課、川崎市麻生区役所道路公園センター整備課、建設緑政局緑政部みどりの協働推進課(事務局)



## 【ワークショップの流れ】

### 1.要素の抽出

それぞれの立場の切り口から、黒川の魅力、活動、営み、課題等について、ポストイットに記入して頂き、地図に貼り付けていきます。

#### ■記載内容例

「眺めの良い場所」、「立派な木や樹林」、「緑と調和した歴史や文化を感じる施設」、「季節ごとの花や緑の見どころ」、「地域活動の活動場所」、「散策に楽しい道」、「まとものある作物の栽培地」、「市民緑地や観光農園の位置」、「不法投棄の多い場所」、「来訪者のマナーで気になるところ」、「イベント情報」等

### 2.イベントや仕掛けのアイデア出し

ウォーキングイベントを行う事を想定し、ウォーキングイベントの中で出来そうなミニ体験や仕掛けの案と、その候補地を検討するとともに、ルート案を記入します。

#### ■記載内容例

「ご協力いただけそうな農家や市民団体」、「体験できそうな農業体験・里山体験」、「説明を行う場所」、「植物・生き物観察」など

### 3.発表

それぞれの班で検討した内容について発表を行い、情報を共有化します。

以上